

シルバー人材センターの 業務全般をサポートする 「エイジレス80」 帳票デザイン機能を搭載し、 個別のカスタマイズを大幅に削減

プロフィール

NRI NRI 社会情報システム

商号：NRI 社会情報システム株式会社
本社：〒135-0042 東京都江東区
木場 1-5-25 タワー S 棟
設立：2007年10月1日
資本金：1億円
代表者：代表取締役社長 大多和 俊明
URL：<https://www.nri-social.co.jp/>



NRI 社会情報システム株式会社
開発部 ビジネスデザイングループ
エキスパートシステムエンジニア
佐々木寛之 氏



NRI 社会情報システム株式会社
開発部 ビジネスデザイングループ
エキスパートシステムエンジニア
小川真也 氏

NRI 社会情報システム株式会社は、全国のシルバー人材センターの業務全般をサポートする「エイジレス80」をメインに開発・販売している。この「エイジレス80」は1985年の提供開始から現在に至るまで約40年間提供し続けているが、1995年から30年近くに亘りPowerBuilderで開発・保守を継続されている。開発環境にPowerBuilderを採用し続けている理由やメリットについて、開発部の小川真也氏と佐々木寛之氏にお話を伺った。

シルバー人材センターの業務をサポートする「エイジレス80」

株式会社野村総合研究所（以下、NRI）グループの1社であるNRI 社会情報システム株式会社は、全国の市区町村にあるシルバー人材センターのシステム構築や運用をサポートし、高齢者の地域活動や就業活動を活発にする事業を支援している企業として知られる。

「当社は全国のシルバー人材センター様向けの業務システムである『エイジレス80』をメインに開発・販売をしています。」と開発部 ビジネスデザイングループ エキスパートシステムエンジニアの小川真也氏は語る

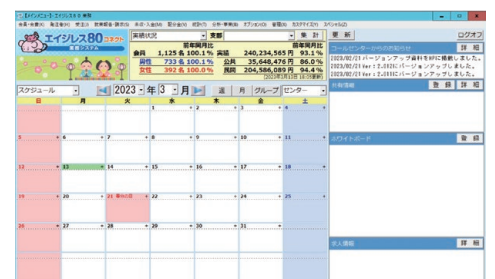
エイジレス80は、シルバー人材センターの基幹業務として、会員・発注者情報や就業管理、また組織運営に必要な会計処理や給与計算機能はもちろん、分析や統計などの機能も備えた、まさにオールインワンパッケージシステムだ。

全国約800の市区町村、7,000人ものユーザーが利用しており、シェアは70%を超える。事実上の業界標準システムだ。シルバー人材センターの業務に必要な機能が網羅されていることに加え、ユニバーサルデザインを意識した誰もが使いこなせる、わかりやすいインターフェースが提供されている。

「当社はシステムの提供だけでなく、業界に対する提案や情報提供を行っています。会員様や地域の方々のデジタル化を促進し、働き方やサービスを変えていくDXを推進しています。また、専用のコールセンターを構えており、システムの使い方に限らず、踏み込んだサポートを提供していることが、お客様に評価されている一つのポイントだと感じています。」と開発部 ビジネスデザイングループ エキスパートシステムエンジニアの佐々木寛之氏は語る

エイジレス80は、東京都をモデルユーザーとして1985年に提供を開始し、1995年には業界初となるクライアントサーバー型システム「エイジレス80 第3世代」をリリースした。2013年には第7世代をリリースし、アプリケーションを仮想化することでクラウドに対応。顧客の事業データをクラウドへバックアップ

エイジレス80TOP画面



できるようになった。さらに、取材時点での最新版である PowerBuilder 2019 R3 へバージョンアップを行い、2023 年 1 月には第 9 世代をリリースした。

顧客の事業データが保存されているデータセンターは大規模災害にも耐えうる設計となっており、24 時間 365 日 NRI が監視を行っている。さらに遠隔地でもデータをクラウドへバックアップすることで、事業運営の継続性が高められている。災害などによりデータの紛失・破損があればデータの復旧に時間がかかり、事業継続も危ぶまれるが、BCP/DR 対策が十分に行われているため、信頼性が高く、事業継続にも有効なシステムだ。

このようにエイジレス 80 は、長期間に亘って現場視点で業務最適化をサポートし、顧客の声を収集してサービスの改善に反映してきた。その経験やノウハウが結集されたシステムやサポートが魅力となり、多くの顧客からの信頼を獲得しているというわけだ。

自由度が高く、圧倒的な開発生産性を誇る 統合開発環境「PowerBuilder」

エイジレス 80 は、もともと NRI が開発・販売していたが、2007 年に設立した NRI 社会情報システムに事業を移管した。それ以降、エイジレス 80 の開発・販売は NRI 社会情報システムが行っている。

「エイジレス 80 第 3 世代から最新版となる第 9 世代まで、PowerBuilder を使って開発をしています。1990 年代、NRI でも PowerBuilder を使った Windows アプリケーションの開発プロジェクトが多数あり、開発実績やノウハウがあったため、エイジレス 80 の開発にも使われたことがきっかけです。PowerBuilder は開発生産性が高く、要件を整理しながらも簡単にサンプルができるため、サンプルを確認しながら調整を進めることもできます。開発してきた資産も有効活用できるので使い続けています。」(小川氏)

PowerBuilder は 1991 年にバージョン 1.0 がリリースされて以来、多くの企業がアプリケーションやサービス開発に活用している。データベースや帳票などを扱う業務アプリケーションの作成を得意とし、日本市場でも 1,400 以上の団体に使用されている。

「シルバー人材センター様は、業務で多くの帳票を使いますが、800 市区町村ある中で契約書一つとってもそれぞれに違いがあります。エイジレス 80 では約 2,000 の帳票と画面が存在しますが、これを個別にカスタマイズしてしまうと規模が膨れ上がり、保守性が低下してしまいます。このカスタマイズを削減するために、エイジレス 80 ではお客様自身で帳票デザインを変更できる機能を提供しています。アプリ上から帳票イメージを動的に変更することができ、変更した帳票は保存して次の世代に移行しても使用できます。PowerBuilder で実現したこの機能を提供することによりカスタマイズが圧倒的に減少し、保守性が向上しました。」(小川氏)

同社は帳票をいくつかのパターンに分け、パターン毎のクラスを作成したり、メニュー表示や印刷処理など、システム内で共通的に使用できる処理も独自のクラスとして準備している。それにより、開発の効率化、安定稼働を実現している。PowerBuilder には標準でさまざまなクラスが提供されているが、独自のクラスを作成して活用できることも大きな魅力の一つだ。

- 記載されている会社名及び製品名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- 記載している内容は 2024 年 2 月現在の情報です。

「エイジレス 80 は、全国約 800 の市区町村が使うパッケージシステムなので、不具合が発生してしまうとお客様の業務が止まってしまいうだけでなく、その先にいる会員様や発注者など地域社会にも影響が及ぶため、プログラムの品質確保やリリースには特に注意を払っています。その際、ブラックボックスが少ないというのも重要な要素です。PowerBuilder はローコードの開発環境ですが、一般的なローコード開発環境の場合、どこでエラーが発生しているのかが特定できない場合があります。PowerBuilder のデバッグ機能は使いやすく、原因の特定が容易で我々も動作をしっかりと理解できるので、品質の高いアプリケーションを提供できています。」(佐々木氏)

ニーズに応えるため、PowerBuilder の さらなる機能追加・強化に期待

同社はエイジレス 80 の他にも、シルバー人材センターが人材派遣事業を開始したことをきっかけに、派遣事業向けの Web 版システム『Collabo80+』の開発・販売をしている。

「Web アプリケーションである Collabo80+ の開発にもツールを使用していますが、PowerBuilder の生産性の高さを実感しています。また、エイジレス 80 はアプリを仮想化し、職員様が事務所外でも会員情報の照会などが行えるようにタブレット PC 向けのシステムも配信していますが、UI を工夫してモバイルアプリのようなデザイン・操作性を実現することもできるので、使い方次第で自由度も高いです。ただし、タブレット PC などの特殊なサイズの画面は、その大きさに合わせて都度画面設計をしなければならないので、微調整などの作業に苦勞するケースが少なくありません。もしレスポンシブデザインに対応できれば、さらに生産性が向上するでしょう」(佐々木氏)。

タブレット TOP 画面



現在もユーザーニーズに応えながら機能を追加・強化しているが、さらなるニーズに応えるため、マルチデバイス対応や Web サービスとの連携を視野に入れる。

「シルバー人材センター様の業務に Web やスマートデバイスなどを使うケースは増えてくるでしょう。そういったニーズに応えられるように PowerBuilder の機能についても追加・強化してほしいです。我々はエイジレス 80 を通じて、シルバー人材センター様の働き方改革や DX を加速させるお手伝いをしていきます。PowerBuilder には、ぜひその後方支援をお願いできればと思っています。技術継承が今後の課題の一つですので、エンジニアを育成するためにも PowerBuilder の研修会や事例集などの充実を期待したいですね」(小川氏)

開発生産性の高い PowerBuilder を使い、長期間に亘りエイジレス 80 を保守・開発している NRI 社会情報システム。同社の保守・開発を担う PowerBuilder への期待は大きい。

